

基本計画に示す協働リーディング・プロジェクト(たたき台)

協働リーディング・プロジェクトの位置づけと内容

位置づけ

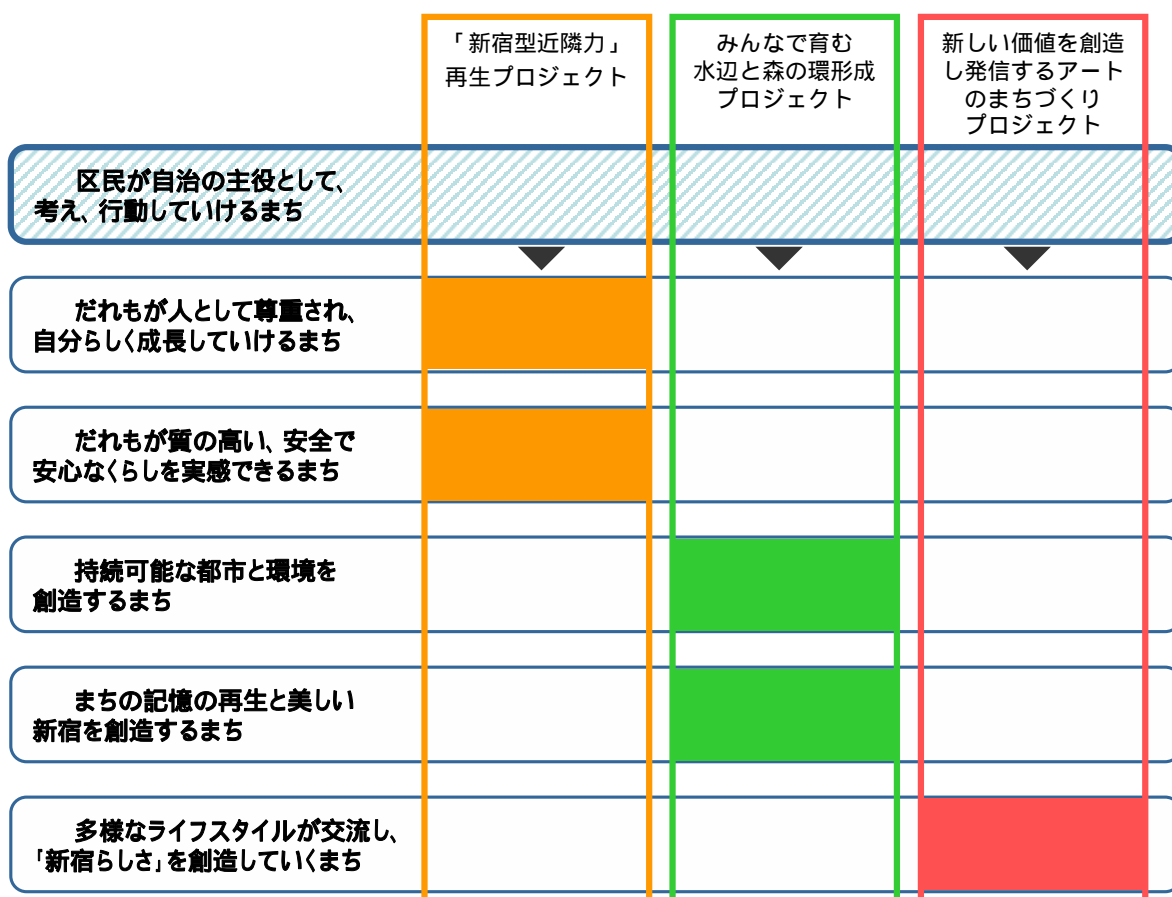
\* 協働リーディング・プロジェクトは、新基本計画において、区が目指す協働のまちづくりを先導するために実施するプロジェクトである。

内容

\* 協働リーディング・プロジェクトの目標は、区が目指すまちづくり実現の観点から、重要性が高く、かつ複数の分野にまたがる横断的な目標を設定する。

\* 協働リーディング・プロジェクトは、基本計画に位置づけられる基本政策の中から、類似した複数の基本施策を束ねるものとして位置づける。

協働リーディング・プロジェクトの構成と「まちづくりの基本目標」との関係



## 協働リーディング・プロジェクトの進め方

### 地域を中心とした多様な主体との協働によるプロジェクトの推進

- \* プロジェクトは、各地区においてまち歩きやまちづくりの課題の検討を通じて作成された「地域別まちづくり方針」意見書の成果等をもとに、地域のコミュニティ、自然、歴史、施設などの地域特性に応じて、地域が主体となって選択する。
- \* プロジェクトは、地域の様々な課題解決に取り組む地区協議会に加え、それぞれのプロジェクトの特性に応じて課題解決に取り組むNPO、大学、専門家、企業などと連携して進める。
- \* 行政は、これら多様な主体のコーディネートやマッチング機能を発揮し、プロジェクトの取組みを後押しするとともに、成果の見え始めた取組みについては、そのノウハウ等を他地域へと積極的に展開させていく。
- \* こうした取組みを通じて、区民、区職員、企業市民等すべての主体が、まちづくりのスキル（参加・協働等）や地域での問題解決の方法を身につけていくとともに、新宿区の都市にふさわしいコミュニティづくりを進めていくことができる。

### 子どもの参画のしくみの導入

- \* プロジェクトには、できるだけ子どもの参画のしくみ<sup>注)</sup>を導入する。
- \* 子どもの声を聞き、子どもの主体的な参加を促すまちづくりを行うことで、次世代の新宿の可能性を示すことができる。
- \* また、大人は、子どもたちに対して「地域を担う大切な一員であること」「経験を通して、失敗を繰り返しながら、生きる力を育てていこう」という、大人になるプロセスに必要なメッセージを伝える機会を持つことができる。

注) 子どもの参画のしくみとしては、「ミニ・ミュンヘン」の取り組みがある。ミニ・ミュンヘンは、7歳から15歳までの子どもだけが運営する「小さな都市」である。8月の夏休み期間3週間だけ誕生する仮設都市で、ドイツのミュンヘン市ですでに20年の歴史がある。子どもたちは、ミニ・ミュンヘンで遊びながら、仕事をすることや社会の仕組み、コミュニケーションを学んでいく。日本においても、このミニ・ミュンヘンの取り組みに触発されて、地域性や主催者の個性を生かした取り組みが各地で展開されている。

## プロジェクト 1 「新宿型近隣力」再生プロジェクト

### 目標

人びとが暮らしの場で自然に織り成す近隣の人づき合いの関係は、お互いに助け合い、情報を交換し、地域を元気にし、暮らしの課題解決と一緒に取り組む潜在的な力（「近隣力を」）もっています。ところが、高齢化や少子化の進展、集合住宅居住世帯や単身世帯の増加、個人主義的意識の浸透などにより、この近隣力が衰弱し、社会的孤立が深まることによって、今後日常の暮らしで生じるさまざまな問題の解決が困難になる事態が懸念されており、「近隣力」を再生させることが重要な課題になってきています。

新宿のような都市化が高度に進んだ地域社会において、この「近隣力」を再生させるためには、地域住民の間で自然発生的に生まれるご近所付き合いに期待するだけでは不十分であり、人と人がつながり、暮らしの問題をとともに語りあえるような「出会いの場」や「たまり場」「いこいの場」を積極的に作っていくことが重要です。また、それらの「出会いの場」や「たまり場」で出てくる課題を解決するために、地域住民をはじめ、ボランティア、NPO、町内会や自治会、地区協議会、社会福祉協議会、行政の関連部署が連携し、ネットワークをつくりながら応援するなど、必要な公私のサービスにつなげていく仕組みを作ることも必要となります。

### 取り組みの内容

このプロジェクトでは、地域住民、ボランティア団体、NPO、町内会・自治会、社会福祉協議会、行政関連部署が連携して、子育てや青少年育成のための「出会いの場」ネットワークづくり、団塊世代の「地域デビュー」を促進する「たまり場」ネットワークづくり、ひとり暮らし高齢者など社会的に孤立しがちな人たちのための「いこいの場」ネットワーク作りに取り組みます。

具体的には、住民の自発的意思を尊重しながら、拠点となる地域を定めて、そこを核としながら、関心をもち協力しあえる人・団体・機関のネットワークをつくり、全区的な取り組みへの展開をめざします。

### <関連する基本施策（5施策）>

- 1 - 都市内分権の推進
- 1 - コミュニティ活動の展開
- 2 - 地域で安心して子育てができる新たな仕組みづくり
- 1 住み慣れた地域で支えあう仕組みづくり
- 3 犯罪の不安のないまちづくり

### 実施が想定される地域

高齢化の進展が著しい住宅地地区 など

### 期待される効果

区民の社会的孤立化を防止し、社会参画への支援を行うことにより、地域で暮らす人々のくらしを心身ともにゆたかにすると同時に、近隣で社会的絆を豊かに作りだすことで、コミュニティの機能を充実させ、住民自治の基盤をつくることができる。またさまざまな異なる立場で活動しているボランティアやNPOと地域組織、行政機関が出会い、協働する有効な機会が提供できる。

## プロジェクト 2

### みんなで育む水辺と森の環形成プロジェクト

#### 目標

豊かな水辺とみどりは、くらしを豊かにする区民共有の財産であるとともに、新宿を訪れるすべての人々に魅力ある環境を提供するための重要な要素です。

しかし、新宿のみどりは年々失われつつあり、水辺の環境を守り、生かす取り組みも十分とは言い難い状況にあります。新宿でくらし、活動するすべての人々が、豊かな水辺とみどりを守り育む取り組みを進めることが求められています。

このため、区民と行政、企業等民間団体などが一体となって、新宿を象徴する水辺と緑の空間として、「水辺と森の環」を形成する取り組みを進めていきます。

#### 取り組みの内容

新宿御苑や外堀に代表される、重厚な歴史をもつ水辺とみどりの空間を復活、再生させ、拠点となる質の高い水辺と緑を、未来に受け継ぐ区民共有の財産として、官民一体となって整備していきます。また、これらを結ぶまちなみにおいても、区民と行政、企業等がそれぞれの立場で身近な水辺とみどりを育む取り組みを進め、区の全域を囲む水辺と緑の「環」を形成して行きます。

#### < 関連する基本施策（6施策） >

- 1 - 都市内分権の推進
- 1 - 水辺と森の再生
- 3 - 地球環境問題への取組みの推進
- 1 - 参画協働のまちづくり手法の開発
- 2 - 楽しく歩けるネットワークづくり
- 3 - 身近な水辺とみどりをいかしたまちづくり

#### 実施が想定される地域

- ・水辺（新宿御苑や外堀・川（神田川・妙正寺）沿道空間など）や緑地（落合斜面緑地など）を抱える地区

#### 期待される効果

公園や道路、河川など特定の都市基盤整備では困難な、総合的、体系的な取り組みにより、失われつつある区民共有の財産を未来に継承することができ、また、魅力ある都市環境の形成により定住の促進、地域活動や交流の活性化など地域の振興にも役立ちます。

また、新宿でくらし、活動するすべての人々が関係し、区の全域に広がる取り組みであるため、あらゆる立場の人々の参画と議論、取り組みの実践を通じて、多様な主体の協働によるまちづくりへの啓発や仕組みの構築が進展し、さまざまな分野での取り組みへの展開も期待できます。

### プロジェクト 3

## 新しい価値を創造し発信するアートのまちづくりプロジェクト

#### 目標

新宿は日本で最も多くの人が行き交い、常に最先端の情報が創造、発信される都市です。しかし、全国の人々が抱いている新宿のイメージは必ずしも豊かさや魅力だけではありません。

交流拠点、文化の発信拠点として新宿がその可能性を最大限に生かして、魅力ある都市として発展して行くためには、活発な交流と情報の集積を価値ある文化の創造に結びつけていく仕組みが必要です。

新宿に集う人々の意欲やアイデアを形にして、新たな文化を創造し、さらにこれを生かしたにぎわいと新宿らしい産業の育成に結びつける取り組みを進めます。

#### 取り組みの内容

新宿に集う人々による新たな文化の創造のモデルとしてアートに着目し、活動と発表の場を求める若手のプロやプロの卵となる人々の、活動を支援するための場や機会を提供する取り組みを進めます。

区民や企業、教育機関等の民間団体と行政が、遊休化した施設等の空間や資金、情報チャネル、人材など、それぞれの資源を持ち寄り、新宿に集うアート系人材に活動の場や発表の機会を提供することで、新宿発の新たな文化の発信を活性化します。

#### < 関連する基本施策（7施策） >

- 1 - 参画と協働に基づく区政運営の推進
- 2 - まちの「広場の利用」の推進
- 1 - 新しい文化・観光の創造・発信
- 1 - 文化創造の基盤の充実
- 2 - 文化と観光・産業との連携
- 2 - 若者による新しい文化の創造
- 3 - 新宿の魅力や高付加価値な情報を発信する産業の創造

#### 実施が想定される地域

- ・空家や空き室のある一般民間施設や学校を抱える地区、賑わいの拠点となる地区など

#### 期待される効果

独自の新しい文化の発信が活性化することにより、都市イメージの向上と活動と発表の場を求める人々の更なる集積により、一層の交流の活性化が図られます。また、こうした効果を生かした、商業・サービス業など地域産業の活性化が期待できます。

さらに、新宿を舞台とした多様であたらしい文化活動の活性化により、区民がアートに触れ、楽しむ機会が拡大し、区民の生活の豊かさの向上にも寄与します。